

回復と新しい始まりvc
スティーヴン・ハーパー カナダ首相

To order a printed copy, please click [here](#).

To download a low-resolution pdf, click [here](#) or go to the [Newsdesk site](#).

カナダの2010年サミットの主題は「回復と新しい始まり」です。G20・G8では、カナダは相互依存する世界におけるチャレンジに対し世界リーダーシップの助長に務めます。

我々のアプローチは「啓発された統治権」という概念を中心に展開します。最悪の危機はもう過ぎていくかも知れませんが、リーダーたちは、特にグローバル経済の情勢について共有の責任を容認し続けなければなりません。我々は統治権の名における狭量な自己利益の精神を控え、あらゆる人々が成長・繁栄するという拡張された相互利益の視野の下に一体とならなければなりません。そこにおいて「啓発された統治権」は啓発された自己が自然に拡張されたものとなります。

トロントとムスコカでの討論では、高慢な新協定の探求より、既存するコミットメントの成果を確実にすることに焦点が当てられます。我々は、成果を収め得るには決意とそれを最後までやり抜くことが非常に重要であることを認識しています。G8・G20全諸国がこの責任意識をもつことはサミットを真に成功させる上において重要なものとなります。

G20をどうしても成功に導かなければなりません。市場に非常なパワーを生み富を広く散布する力があることは明白ですが、市場には統治が必要であることも我々は知っています。新しい世界経済のためにG20は開催されるのです。

現在、我々が不景気の最終段階と回復を迎えてようとしているところで、G20のアクションが既に取りられており且つ今後とも極めて重要となる分野が4つあります。金融部門の改革、刺激策、国際機関の改革及び世界貿易と成長戦略がこれに当たります。

まず、金融部門の改革規制からお話しましょう。

多くの皆様をご存知の通り、カナダはこの問題には関わっていませんでした。カナダのいかなる主要金融団体も失敗せず、また政府の財政援助を必要としませんでした。ゆえに、現在、カナダは世界でも最大規模の銀行部門を誇っており、しかもそれは完全に民間部門に委ねられています。

世界経済フォーラム、そして最近においてはムーディーズ インベスターズ サービスの両者がカナダの銀行を世界でも最も健全であると格付けしています。今回の危機の間の同部門の実績は、カナダのアプローチが効果的であることを実証しています。ですから、我々は同様の規制を世界に適用することをしきりに勧めます。

透明さを高めて世界経済へのリスクを減少させるために、不十分な国家システムは再構築され国際同輩の観察を必要としなければなりません。それでなければいかなる経済をも不必要なリスクと潜在的な悪影響に曝け出すこととなります。

G20を通じて、我々はこの金融部門の規制強化及び規制間の調整改善を奨励します。しかし、カナダは金融部門において極端で独裁的な厳しい規制の道を歩みません。

現在進められているG20優先策の第2番目は、金融・財政的に世界均衡の取れた刺激法案を駆り立てることです。さしあたり、重要な警告をもって最後まで諦めないことが大切だと我々は信じます。

財政拡張、政府の支出増長、そして赤字増加は不景気の間は必要でした。実際、生産及び雇用の激減、ゼロ近くまで下がった利子に対しての経済理論は明確でした。これしか選択の余地が無かったのです。しかし、最近の出来事では、真のリスクは多くの負債を抱えている国にあることが強調されています。というのもそれらの国は大規模な赤字予算からの出口戦略に欠けているからなのです。

この見解は我々の経済計画を形成しています。カナダは自国経済の援助において2年の経済アクション計画と財政刺激策を完成させます。我々はこれまでのG20会議で決定された全ての約束を誠実に守ります。漸進的ですが中期には財政収支均衡に戻るための明確な計画も設計しました。2009年の急激な経済縮小の期間においても、我々の状況は、比較的適度な負債と赤字レベルによって明らかに増強されました。

もう少し大まかに言えば、G20にはピッツバーグで合意された原則「強力で、持続可能で、均衡の取れた成長のための枠組み」を発展させる義務があります。我々は現在の危機の背後に潜んでいるものを見つめ、原因となった根本的な不平等に取り組まなければなりません。

同様に、G20諸国は、国際通貨基金、世界銀行、国際開発金融機関等の国際財政機関がグローバル成長と安定の重要な土台であることを確実にする必要があります。我々はダイナミックな新興市場とこれらの機関で発展する経済の声や代表を献身的に強めて、それらの合法性、信憑性、有効性を増進させる必要があります。

最後に世界貿易と成長戦略についてお話しします。前代において、世界は主に世界貿易の成長主によって富を築きました。貿易振興及び保護貿易主義への抵抗は、世界経済のため、そして多くの人を貧困から救うためにまさに必須です。G20は毎回の会議でこれを述べています。

勿論、この目標を非難する国家的な動きもあります。そうであっても、我々は、1929年の株式市場暴落を10年間の不景気に導いた貿易保護政策のようなことをこれまで避けてきました。

カナダは自由貿易と公開市場の促進においてリーダーとなるよう努力してきました。我々の景気刺激策は関税を引き上げませんでした。それどころか、一方的に引き下げ、カナダを製造工業にとって無関税地域としています。2006年以来、我々は8カ国と新たな自由貿易協定を結び、ヨーロッパ連合を含む6つの交渉に取り組んでいます。我々は保護貿易主義に抵抗し続け、関税の障壁を削減または排除するよう働きかけます。

我々が望む「G20が前進するにあたって成功に必要な状態」とは、回復の満ち潮である特定のものだけでなく全ての船を持ち上げなければならないという信念を我々が分かち合うことです。これが最も啓蒙された統治権の執行です。根本的には世界機関の構造ではなく、心構えの問題と言えるでしょう。我々の相互のためにどのような世界構造を改善工夫するかは問題ではないのです。なぜなら、我々に世界的な心構えがなければいずれもうまくいかないのですから。

G20の焦点は必然的に経済に当てられるので、G8諸国には重要な役割が残されています。類似価値を持つ発展同盟国は、民主主義、発展、平和、安全保障の促進をなおいっそう果たすことができます。

この騒然とした世界において、これらの分野にどのくらいの国際協力が求められているかを我々は明確に把握しています。テロリズムはあらゆる人を脅かしています。海賊行為は戦略上重要な海路に戻りました。気候変動は適応が殆ど不可能な人々を不相応に脅かしています。そして、古い核保有国の間での緊張が殆ど消散したにもかかわらず、核兵器は新しい主体（特に非国家主体）へ普及されていることは深刻な懸念となっています。

一国の力だけではこれらの複雑で圧倒的な脅迫に対処できません。G8が一体となってリーダーシップを示さなければなりません。母子保健は我々が一体となることができる一分野です。

毎年、50万人以上の妊産婦が亡くなり、900万人近くの子どもたちが5歳の誕生日を待たずに死亡するのをご存知でしたか。

はるかに多い命と将来が失われました。そして世界にとって不面目なことは、非常に多くの人が、国際的な共同体では簡単に入手できるような比較的基本的な医療手当てが受けられなくて亡くなっているということです。

G8の議長国としてのカナダは、イニシアティブを守って健康な妊娠及び健康な母子の数を増加させます。例えば、医療最前線に従事する人たちの研修やサポート、より優れた栄養補給と微量栄養素の供給、肺炎、下痢、マラリア及び敗血症などの治療と防止、HIV/AIDSなどの性感染症の検診と治療、適切な薬物治療、家族計画、免疫化処置、安全な飲み水と公衆衛生等の連続したケアへのさまざまな介入があげられます。

結論として、G20・G8会議は前方に莫大な協議事項を抱えています。その全てが現在進行中の世界経済と財政不確定の雰囲気の中で取り扱われます。解決策は参加国全員の共同責任にあるという確信を持って会議に向かわなければなりません。我々は実用的であり且つ考えを集中しなければなりません。そして、とりわけ、我々のアクションの説明責任を促進しなければなりません。

この6月のG8・G20の開催国として、カナダは持ち前のリーダーシップの役割を利用して、これらの主要チャレンジに焦点を合わせます。我々は、経済回復の援助と世界人類のための新しい始まりの計画を行いながら国際パートナーと密接に協力していくことを楽しみにしています。